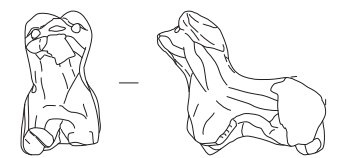


大分市埋蔵文化財調査概要報告 2017

平成28年度版



大友氏館跡 園池跡西側出土 犬型土製品

大分市教育委員会

序 文

本書は、平成 28 年度に大分市教育委員会が実施しました埋蔵文化財の発掘調査、および関連事業の概要を報告したものです。

近年、文化・芸術を中心にまちづくりを進めるなか、地域に受け継がれてきた文化財や伝統文化の保存・活用に努め、着実に次世代へ継承していくことが重要となっています。教育委員会では、本市の基本的な政策のひとつである「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり」の実現にむけ、様々な取り組みを行っています。

平成 28 年度は特に、大友氏館跡庭園域を中心に確認調査を進め、16 世紀後半の園池跡北東側の構造解明が行われ、復元整備に向け、貴重な成果が得られたところです。また、広く市民が学習・交流を深める機会としてシンポジウム「日本ではじめてのキリシタン・南蛮文化が薫るまち おおいた ～我がまちの魅力発信と日本遺産に向けた取り組み～」を開催し、岐阜市から講師を招いての基調講演とパネルディスカッションを実施いたしました。

さらに、府内城・宗門櫓復元公開活用事業では、宗門櫓の修理を実施するにあたり、先行して確認調査を実施し、遺跡見学会を行うなど、文化財の公開活用にも積極的に取り組んでまいりました。

今後も文化財の保存・活用・継承に努め、文化・芸術を生かしたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

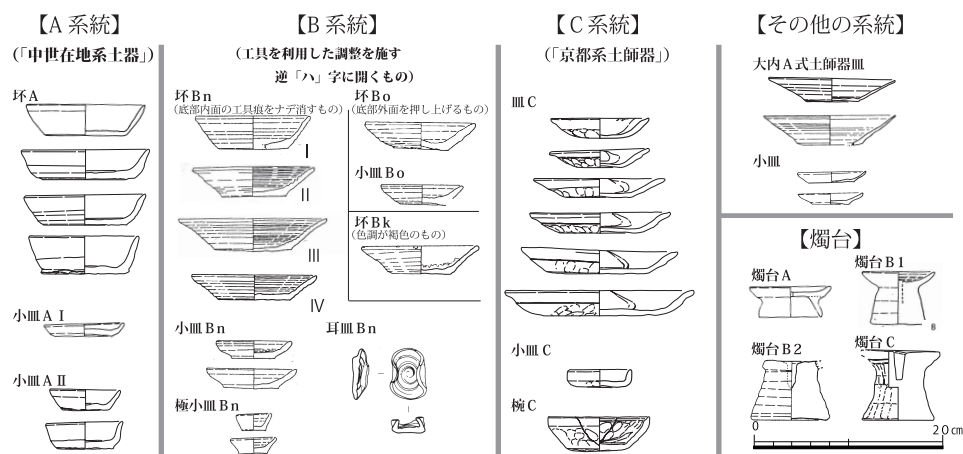
最後になりましたが、日頃より本市文化財行政にご理解とご協力を賜っております皆さまに対しまして心から感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月 15 日

大分市教育委員会
教育長 三浦 享二

例言・凡例

1. 本書は大分市域において大分市教育委員会が平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間に行った埋蔵文化財に関する発掘調査及びこれに関連する事業の内容についてまとめた概要報告書である。
2. 平成 28 年度における調査地点は、第 1 表及び第 2 図に示している。
3. 本書の執筆は担当者が分担して行い、文末に執筆者名を記している。
4. 第 5 章の受贈図書目録は、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間に大分市教育委員会文化財課に受贈された書籍等を掲載した。なお、受贈図書目録の作成は文化財課嘱託職員荒木伴世による。
5. 本書に掲載された遺跡調査の資料整理は、調査担当者をはじめ、大分市教育委員会文化財課嘱託職員及び臨時職員が行ったものである。本書掲載遺物の実測・トレースは荒川和哉・荒木伴世が行った。
6. 本書に用いた方位はすべて座標北（G.N.）である。掲載図中の座標は、特に断りがない限り、世界測地系の平面直角座標Ⅱ系の X・Y 座標を基点として表記している。ただし、大友氏館跡、中世大友府内町跡、城原・里遺跡は、日本測地系の座標値にもとづく。
7. 本文中に掲載した現場写真は、各調査担当者が撮影したものである。
8. 本書の編集・構成は、荒木伴世及び各調査担当者が行った。
9. 出土遺物及び調査の記録・資料は大分市埋蔵文化財保存活用センター（大分市大字田原 337 番地の 5）に保管している。
10. 遺物の法量に関しては、各遺物実測図の上部に、口径 - 器高 - 底径の順に記載している。なお、瓦・石製品・鉄製品に関しては、長さ - 幅 - 厚みの順に記載している。単位は cm である。
11. 大友氏館跡・中世大友府内町跡で用いた出土遺物の分類及び年代観は、右記の図及び文献を参考にしている。



陶磁器類：太宰府市教育委員会 2000『大宰府条坊X V－陶磁器分類編－』 小野正敏 1982「15～16世紀の染付碗・皿の分類と年代」『貿易陶磁研究』No. 2（染付は青花に読み替える）上田秀夫 1982「14～16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁研究』No. 2 森田勉 1982「14～16世紀の白磁の分類について」『貿易陶磁研究』No. 2 備前：栗岡実 2005「備前」『全国シンポジウム 中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年 資料集』 焼締陶器：吉田寛 2003「中世大友府内町跡出土の産地不明焼締陶器について」『貿易陶磁研究』No. 28 瓦質・土師質土器火鉢：山村信榮 1990「太宰府出土の瓦質土器」『中近世土器の基礎的研究』VI 京都系土師器・土師質土器鍋：河野史郎 2002「出土土師器・血類及び瓦質土器雑器の分類と編年」『大友府内 4』大分市教育委員会 大内系土師器：北島大輔 2010「IX章 大内式の設定」『大内氏館跡X I』山口市教育委員会 在地系土師器：長直信 2011「豊後府内における京都系土師器導入 前後の土器様相」『古文化談叢』第65集（4）

本文目次

第1章	大分市教育委員会教育部文化財課概要	1
1.	沿革	1
2.	組織	1
3.	大分市教育委員会事務局組織規則（抜粋）	2
4.	大分市文化財保護審議会	2
第2章	平成28年度発掘調査概要	3
第3章	主要な埋蔵文化財発掘調査概要及び調査報告	6
1.	大友氏館跡 第34次調査（概要）	6
2.	大友氏館跡 第35次調査（概要）	8
3.	大友氏館跡（庭園域：園池跡）調査	9
4.	城原・里遺跡 第18次調査（概要）	11
5.	城原・里遺跡 第19次調査（概要）	14
6.	上野大友館（上原館）跡 第8次調査（概要）	16
7.	中世大友府内町跡 第124次調査（報告）	20
8.	府内城・城下町跡 第26次調査（報告）	23
9.	羽田遺跡 第14次調査（概要）	29
10.	葛木遺跡調査（報告）	31
11.	米良草遺跡調査（報告）	32
12.	大道遺跡群 第24次調査 クスノキ製臼の保存科学的研究（報告）	34
第4章	教育普及活動	37
1.	イベント関連	37
2.	刊行物	37
3.	遺跡見学・視察・発掘体験	38
4.	記者発表	38
第5章	受贈図書目録	39

第 1 章 大分市教育委員会教育部文化財課概要

1. 沿 革

昭和51年	4月1日	大分市教育委員会社会教育課内に文化財係を設置
昭和59年	6月28日	大分市教育委員会社会教育課文化財係を大分市教育委員会社会教育課文化財室に改組
平成元年	4月1日	大分市教育委員会文化振興課文化財室に改組
平成10年	4月1日	大分市教育委員会生涯学習課文化財室に改組
平成12年	4月1日	大分市教育委員会文化財課に改組
平成13年	4月1日	大分市教育委員会教育総務部文化財課に改組
平成21年	4月1日	大分市教育委員会教育部文化財課に改組
平成25年	4月1日	大分市埋蔵文化財保存活用センターを設置

2. 組 織（平成28年度）

課 長	塔鼻光司（～平成29年3月）
参 事	長野清尊（～平成29年3月） 坪根伸也 栗田博之（平成28年4月～） 玉永光洋（～平成29年3月） 武富雅宣 讃岐和夫（～平成29年3月）
特別顧問（嘱託） 参事兼歴史資料館館長 顧 問	

管理庶務担当班	
主 査（班長）	首藤敏行
主 任	大島 輝（平成28年4月～）
主 事	永野雄介
事 務 員	中山美穂（平成28年4月～）

文化財保護担当班	
参 事 補（班長）	高 島 豊
指導主事	植木和美
参 事 補	塩地潤一
主 査（再任用）	時松敬司
主 任	永松正大
主 任（再任用）	稲葉孝博
嘱託職員	堤 理加（～平成29年3月）

史跡整備担当班	
参 事 補（班長）	吉田達夫（平成28年4月～）
主 幹	安達高治
主 査	福岡正二（平成28年4月～） 佐藤道文 長 直信
指導主事	岩本浩典
主 事	新名悠由（平成28年4月～）
嘱託職員	工藤学太（～平成28年4月） 麻生逸夫（平成28年5月～） 杉崎広見（～平成29年3月） 堀真由美 首藤直樹 飯尾里美（～平成28年4月）
臨時職員	

（平成29年度）

課 長	沖田光宏（平成29年4月～）
参 事	坪根伸也 栗田博之
参事兼歴史資料館館長	武富雅宣

管理庶務担当班	
参 事 補（班長）	首藤敏行
主 任	大島 輝
主 事	永野雄介
事 務 員	中山美穂

文化財保護担当班	
参 事（班長）	高 島 豊
参 事 補	塩地潤一 植木和美
主 査	永松正大
主 査（再任用）	時松敬司
主 任（再任用）	稲葉孝博
嘱託職員	清尾美喜（平成29年4月～） 長野清尊（平成29年10月～）

史跡整備担当班	
参 事 補（班長）	吉田達夫
参 事 補	安達高治
主 査	福岡正二 佐藤道文 長 直信
指導主事	岩本浩典
専 門 員（再任用）	塔鼻光司（平成29年4月～）
主 事	新名悠由
嘱託職員	麻生逸夫 堀真由美 安藤佳南子（平成29年4月～） 後藤 愛（平成29年4月～）

学芸普及担当班	
指導主事（班長）	志賀良史（平成28年4月～）
参 事 補	河野史郎
主 査	高野令子（～平成29年3月）
主 査（再任用）	久多羅岐明
専 門 員	中西武尚
主 事	松岡健太（～平成29年3月） 河野美穂（平成28年4月～） 神志那潔 福岡加容 合澤昭子（～平成29年3月） 内野嗣昭（～平成29年3月） 橋本美穂（平成28年4月～） 石丸喜久子（平成28年5月～） 渡邊まなみ（～平成28年9月） 甲斐しのぶ（平成28年10月～）

嘱託職員

臨時職員

埋蔵文化財担当班	
参 事（班長）	池邊千太郎
主 査	吉野晃次 五十川雄也 松浦憲治 小野綾夏
主 事	渡辺友美（～平成28年10月） 千原和己（～平成28年10月） 福永素久（～平成29年3月） 佐藤里恵 留野優兵 米倉加奈絵（平成28年4月～） 木本 広（平成28年11月～平成29年3月） 荒木伴世（平成28年4月～平成29年3月）
嘱託職員	

臨時職員

学芸普及担当班	
参 事 補（班長）	志賀良史
参 事 補	河野史郎
主 査	甲斐陽子
専 門 員	中西武尚
主 査（再任用）	久多羅岐明
主 事	河野美穂 井福裕樹 串間聖剛（平成29年4月～） 神志那潔 合澤昭子（～平成29年4月） 佐藤絵理子（平成29年5月～） 石丸喜久子 福岡加容 橋本美穂 樋口和紀（平成29年4月～） 甲斐しのぶ（平成29年11月～）

嘱託職員

臨時職員

埋蔵文化財担当班	
参 事（班長）	池邊千太郎
主 査	吉野晃次 五十川雄也 松浦憲治 小野綾夏 佐藤里恵 留野優兵 米倉加奈絵 荒木伴世（平成29年4月～） 大塚奈歩（平成29年4月～平成30年1月） 荒川和哉（平成29年4月～） 広瀬奈美子（平成29年4月～9月） 丸田 梢（平成29年10月～）
主 任	
主 事	
嘱託職員	

臨時職員

3. 大分市教育委員会事務局組織規則（抜粋）

文化財課

- (1) 文化財の調査、保存及び整備に関すること。
- (2) 文化財保護思想の普及啓発に関すること。
- (3) 文化財保護審議会に関すること。
- (4) 歴史資料館、海部古墳資料館、毛利空桑記念館、池見家住宅その他文化財施設の管理に関すること。

4. 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会委員（平成29年4月1日現在）

（氏 名）	（勤 務 先）	（担 当）
北野 隆	熊本大学名誉教授（会長）	建 築
豊田 寛三	大分大学名誉教授 前 別府大学学長（副会長）	近 世
鹿毛 敏夫	名古屋学院大学教授	中 世
下村 智	別府大学教授	考 古
段上 達雄	別府大学教授	民 俗
西別府 元日	広島大学名誉教授	古 代
宗像 健一	元 大分市美術館顧問	美 術
船津 勇一	大分県立日田高等学校指導教諭	植 物
渡邊 ひろ美	大分県立大分舞鶴高等学校教諭	動 物
渡辺 文雄	元 別府大学教授 元 大分県立歴史博物館長	工 芸

大分市文化財保護審議会条例(平成 11 年 12 月 15 日条例第 42 号)

(設置)第 1 条 文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)第 190 条第 1 項の規程に基づき、大分市教育委員会(以下「教育委員会」という。)

に大分市文化財保護審議会(以下「審議会」という)を置く。(平 17 条例 13・一部改正)

(組織)第 2 条 審議会は、委員 10 人以内をもって組織し、学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(会長及び副会長)第 4 条 審議会に会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選により選出する。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)第 5 条 審議会の会議(以下「会議」という。)は会長が召集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会議の議事は、出席議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明、又は意見を聴くことができる。

(部会)第 6 条 審議会に、教育委員会規則の定めるところにより、部会を置くことができる。

(庶務)第 7 条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)第 8 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

(大分市文化財調査委員会条例の廃止)

2 大分市文化財調査委員会条例(昭和 51 年大分市条例第 4 号)は廃止する。

附則(平成 17 年条例第 13 号)

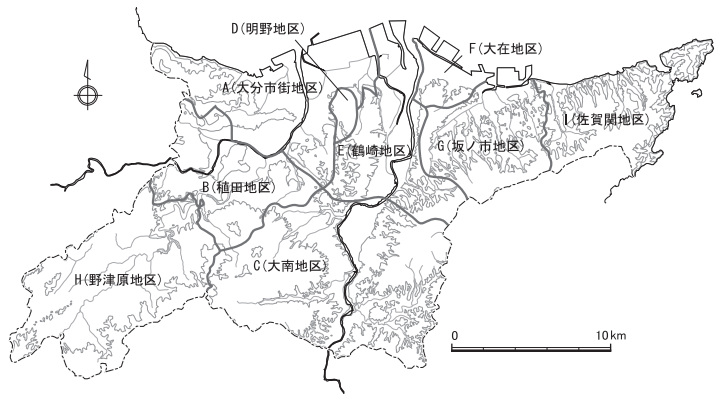
この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

第2章 平成28年度発掘調査概要

平成28年度に大分市教育委員会が実施した発掘調査（本調査）は20件、合計調査面積は10358.75㎡である。このうち、大分市の公共事業によるものが9件5151.5㎡、国庫補助による市内遺跡確認調査が6件3871㎡、民間開発に伴う事業が5件で2006.05㎡であった。市内の地域区分でみると、発掘調査（本調査）20件中12件が大分地区（地域A）で行われた。

一方、開発事業に伴う確認調査・立会調査は51件であった。確認調査が29件、立会調査が22件である。立会調査については、大半が個人住宅建設の浄化槽設置に伴う立会調査である。

地域別件数では、浄化槽設置工事を含む民間開発や公共工事など開発が集中している大分地区（地域A）が21件41%、鶴崎地区（地域E）が19件37%と両地域でおよそ8割を占めている。その他は坂ノ市地区（地域G）で7件、植田地区（地域B）・大南地区（地域C）が各2件となっている。



第1図 大分市地域区分図

No.	遺跡名	所在地	担当者	調査原因	面積 (㎡)	調査期間	調査内容	報告予定
1	大友氏館跡 第34次調査 (園池周辺部)	大分市 顕徳町3丁目	五十川	大友氏遺跡事業	540	2016.6.24 ~ 2016.11.10	16世紀代と推定される掘り込み整地を確認。園池北西側の掘り込み整地跡より規模は小さいが、庭園と関連する推定建物跡、園池跡の池水と関連が指摘される井戸跡、園池跡北東部に小規模な池跡の可能性が考えられる遺構を検出。	平成28年度
2	大友氏館跡 第35次調査 (中心部)	大分市 顕徳町3丁目	五十川	大友氏遺跡事業	2,754	2016.12.26 ~ 2017.3.17	館Ⅴ期段階 (16世紀後半 ~ 1596年) の中心建物跡南辺は、中心建物跡南北幅は25m前後の想定となる。整地跡：中心建物跡南側、真側、北側については概ね範囲が明らかとなった。西側：近世以降の水田掘削により大きく削平を受けており検出出来なかった。中心建物跡周辺での館Ⅴ期段階の遺構確認：中心建物跡東側で以前部分的に確認されていた南北方向の区画溝の延長を確認。中心建物跡西側：礎石痕と考えられる遺構が1基のみ検出。中心建物跡西側に付随する建物跡の可能性がある。	本書 所収
3	城原・里遺跡 第18次調査	大分市 大字城原	小野(綾)、 留野、福永	重要遺跡確認調査 (宅地造成)	18-1: 214 18-2: 111 18-3: 95	2016.11.21 ~ 2016.11.30	1区・3区：複数のビットの確認。 2区：カマドを持つ堅穴建物跡、滑石製の紡錘車や6世紀に帰属する須恵器が出土。調査地点は古墳時代が主体で、正倉などの古代と断定できる遺構や遺物は確認できなかった。	本書 所収
4	城原・里遺跡 第19次調査	大分市 大字城原	小野(綾)、 留野、福永	重要遺跡確認調査	100	2016.12.14 ~ 2016.12.22	堅穴建物跡、ビット、土坑を検出。堅穴建物跡は古墳時代の土師器片が出土。これまでに同敷地内において4回の確認調査を実施し、古墳時代の遺物が分布することが判明したが、周辺で見つかっている7世紀後半 ~ 8世紀代までの大型掘立柱建物跡や竈跡などの古代の遺物は確認できなかった。	本書 所収
5	上野大友館(上原館)跡 第8次調査	大分市 上野丘西9丁目	小野(綾)	重要遺跡確認調査	63	2016.12.5 ~ 2016.12.9	現地表面から0.5m下で古代の土師器片を多く含む暗茶黒色土 (整地層か) を確認。古代の整地層上面では館が機能した中世の遺構は確認できなかったが、耕作土や現代のカクランには16世紀後半と特定できる土師器片が含まれていた。	本書 所収
6	中世大友府内町跡 第124次調査 (推定御蔵場跡)	大分市 六坊北町	池邊、 留野、福永	重要遺跡確認調査 (個人住宅)	14	2017.3.16 ~ 2017.3.17	1 トレンチ：ビットと溝状遺構、浅いたまり状の遺構を検出。 ビットのなかには柱の根石を伴う遺構が見られた。 2 トレンチ：ビット、溝状遺構、土坑を検出。 ビットのうちに15世紀前半 ~ 中頃の在地系土師器片が出土。 3 トレンチ：御蔵場の東境界付近にあたるが、南北方向の区画溝は確認できなかった。	本書 所収
7	府内城・城下町跡 第26次調査 (宗門櫓周辺)	大分市 荷揚町4番	塩地	確認調査 (府内城宗門櫓修復公開活用事業)	50	2016.7.28 ~ 2016.11.15	現存する宗門櫓の石垣につながるように1m程の石垣の根石が2列並んで検出され、その間に人頭大の石(聚石)が認められた状態を確認。出土遺物から築城段階 (16世紀末期) に盛土整地が行われていたことが判明、確認された石垣は幅約3.5mで古絵図の寸法 (1間4尺) と合致する。長さ約5m分が検出。府内城西之丸と出合曲輪を仕切る出入口の一部と判断。	本書 所収
8	中世大友府内町跡 第117次調査	大分市 錦町2丁目	松浦、 留野、千原	道路建設事業 (中島錦町線)	1区: 1112.2 2区: 766.6	2015.12.14 ~ 2016.6.20	1区：第二南北街路と横小路を通る東西道路の交差点。道路に面して建ち並ぶ掘立柱建物跡、井戸、廃棄土坑、火災処理土坑を確認。 2区：第二南北街路とともに大規模区画施設及び称名寺を囲う堀の北西隅、堀の内側から井戸や廃棄土坑などを確認。	平成29年度
9	中世大友府内町跡 第120次調査	大分市 錦町1丁目	松浦、 留野、千原	道路建設事業 (中島錦町線)	1区: 357.3 2区: 178.1 3区: 623.3	2016.5.2 ~ 2016.9.26	1区：第二南北街路と道路に面して掘立柱建物跡、井戸跡、廃棄土坑、かわかけ廃棄土坑を確認。 2区：第二南北街路、掘立柱建物跡、廃棄土坑、石積を有する堀ないしは池状遺構を確認。 3区：第二南北街路と道路に面した礎石建物跡、井戸跡、廃棄土坑、火災処理土坑、埋土、地下式倉庫と想定される石積遺構を確認。	平成29年度
10	中世大友府内町跡 第121次調査	大分市 長浜町2丁目	小野(綾)	道路建設事業 (中島錦町線)	428.6	2016.5.2 ~ 2016.7.22	中世の「今在家町」に位置しており、16世紀後半の整地層上面において井戸跡や廃棄土坑を多数確認した。遺構の検出状況から調査地点は当時の町の裏手にあたることを考えられる。	平成29年度
11	中世大友府内町跡 第122次調査	大分市 錦町2丁目	松浦	道路建設事業 (中島錦町線)	1区: 80.8 2区: 59.7 3区: 20.3	2016.5.2 ~ 2016.10.7	「府内古図」で想定された小笠原町と南小路町の町境にあたる東西道路推定地を調査したが、東西道路は確認できなかった。	平成29年度
12	猪野遺跡 第7次調査	大分市 大字猪野	小野(綾)	宅地造成 (民間受託)	600	2016.7.27 ~ 2016.9.7	大きく弥生時代から古代と中世の遺構及び遺物を確認。応を持つ掘立柱建物跡、五輪塔の空風輪が出土する土坑等を検出。調査地点が当時の一般集落とは異なった様相を示す場所であったことをうかがわせる。	平成28年度
13	上野遺跡群 第20次調査	大分市 上野丘2丁目	小野(綾)、 留野	個人住宅建設	8	2016.5.12	1 トレンチで土坑を4基検出。 遺構からの遺物の出土はなかったため遺構の時期は不明。	
14	上野遺跡群 第21次調査	大分市 大字上野字盛塚	小野(綾)	上野配水池建設事業	677.8	2016.8.19 ~ 2016.11.11	時期を特定できる遺構・遺物は非常に少なく、遺物はほとんどが磨耗が激しく判別が困難で、埋土に含まれ別場所から運ばれたものである可能性が高い。しかし、遺物の多くは中世後半に帰属できるものであることから周辺に中世の遺跡が広がっていることがうかがえる。	平成28年度
15	羽田遺跡 第14次調査	大分市 大字羽田	松浦	漁尾中部地区住環境整備事業	432.5	2016.10.3 ~ 2016.12.16	弥生時代終末 ~ 古墳時代の堅穴建物や、9世紀代の掘立柱建物跡、13世紀代の井戸跡、溝状遺構、16世紀後半の溝状遺構を確認。特に古墳時代の堅穴建物では、屏絶跡に祭祀を行ったと考えられるカマドを確認。	本書 所収
16	細遺跡 第1次調査	大分市 大字細	池邊、 留野、福永	細地区住環境整備事業	168	2016.10.6 ~ 2016.10.31	13世紀 ~ 14世紀頃の土坑墓や土坑、小刀、近代の瓦葺跡を確認。遺物は在地系の瓦器類、中国産の陶磁器、土師質・瓦質の雑器類、銘が入った瓦の破片などが出土。	平成29年度
17	横尾遺跡 第156次調査	大分市 横尾土地区画整理事業地内	池邊、 留野、福永	横尾土地区画整理事業	196.3	2016.9.23 ~ 2016.10.31	2棟の円形建物跡のほか、小刀、土坑、風倒木が検出された。遺物は、弥生土器の小片が少量出土しているのみで、時期を限定できる遺物は非常に限られている。	平成29年度
18	米竹遺跡 第13次調査	大分市 大字千歳	小野(綾)、 留野、福永	福祉施設建設 (民間受託)	406.9	2017.2.6 ~ 2017.2.27	主要遺構は貯蔵穴と土坑である。出土遺物から、貯蔵穴は弥生時代中期と考えられる。弥生時代後期に帰属する土器が大量に含まれる土坑を検出。	本書 所収
19	葛木遺跡	大分市 大字葛木	小野(綾)、 米倉、福永	宅地造成	36	2016.7.6	主要遺構は土坑とビットである。出土遺物から、弥生時代と考えられる。開発が遺構に影響がないため一部掘削で留めているが、堅穴建物跡も検出できたため、周辺に弥生時代の集落が広がっていることが考えられる。	本書 所収
20	米良草遺跡	大分市 大字猪野	小野(綾)、 留野、福永	宅地造成	224+61.3	2017.1.10 ~ 13、 2017.2.23	7トレンチ中内境界は北側と南側で土層の堆積状況が異なることがわかった。各トレンチから時期が特定できる遺構や遺物は確認できなかった。	本書 所収

第1表 平成28年度発掘調査一覧表 ※濃いトーン：公共事業調査 / 薄いトーン：国庫補助調査

No.	種別	遺跡名	調査日	大字 町名	地域	工事事目的	事業種別	調査面積	調査結果	調査担当者	措置
1	立会	米竹遺跡	平成28年4月5日	大字千歳	E	個人住宅	民間開発	3㎡	遺跡あり	小野	工事着工
2	立会	二目川遺跡	平成28年4月6日	大字横尾	E	個人住宅	民間開発	4㎡	遺跡なし	小野	工事着工
3	立会	佐柳遺跡	平成28年4月18日	大字中戸次	C	個人住宅	民間開発	4㎡	遺跡なし	小野	工事着工
4	立会	東田室遺跡	平成28年4月22日	田室町	A	個人住宅	民間開発	2㎡	遺跡なし	五十川、米倉	工事着工
5	確認	横尾遺跡	平成28年4月26日	横尾	E	造成	民間開発	45㎡	遺跡あり	小野、留野、福永	工事着工
6	確認	細遺跡	平成28年4月27日	大字細	G	道路	公共事業	23㎡	遺跡あり	小野、留野	工事着工
7	確認	上野遺跡群	平成28年5月12日	上野丘二丁目	A	個人住宅	民間開発	8㎡	遺跡あり	小野、留野、福永	工事着工
8	立会	坂ノ市遺跡	平成28年5月12・13日	坂ノ市中央5丁目	G	個人住宅	民間開発	5㎡	遺構面に達せず	松浦、福永	工事着工
9	立会	米竹遺跡	平成28年5月17日	大字千歳	E	個人住宅	民間開発	3㎡	遺跡あり	小野	工事着工
10	確認	中世大友府内町跡	平成28年5月18日	顕徳町2丁目	A	集合住宅	民間開発	8㎡	遺跡あり	五十川、米倉、福永	工事着工
11	確認	細遺跡	平成28年5月31日	大字細	G	道路	公共事業	21㎡	遺跡あり	小野、留野	工事着工
12	確認	中世大友府内町跡	平成28年6月7日	錦町3丁目	A	建替え	民間開発	10㎡	遺跡あり	池邊、五十川、福永	工事着工
13	立会	中世大友府内町跡	平成28年6月10日	錦町2丁目	A	その他建物(診療所付属施設)	民間開発	13㎡	遺跡あり	塩地、千原	工事着工
14	確認	猪野遺跡	平成28年6月9日	大字猪野	E	宅地造成	民間開発	31㎡	遺跡あり	松浦、米倉	発掘調査
15	立会	専想寺遺跡	平成28年7月1日	大字森町	E	個人住宅	民間開発	4㎡	遺跡なし	米倉、佐藤	工事着工
16	立会	松平忠直津守館跡	平成28年6月27日	大字津守	A	個人住宅	民間開発	3㎡	遺跡あり	池邊	工事着工
17	確認	府内城・城下町	平成28年6月23日	荷揚町	A	史跡整備	公共事業	17㎡	遺跡あり	塩地、小野、千原	現状保存
18	確認	葛木遺跡	平成28年7月6日	大字葛木	E	集合住宅	民間開発	36㎡	遺跡あり	小野、福永、米倉	工事着工
19	確認	古国府遺跡群	平成28年7月27日	大字奥田	A	その他建物(診療所)	民間開発	6㎡	遺跡なし	池邊、福永	工事着工
20	確認	若宮八幡宮遺跡	平成28年8月10日	上野町	A	集合住宅	民間開発	14㎡	遺跡なし	小野、米倉	工事着工
21	立会	米竹遺跡	平成28年7月26日	大字千歳	E	個人住宅	民間開発	2㎡	遺跡あり	小野、米倉	工事着工
22	立会	米竹遺跡	平成28年7月29日	小池原	E	集合住宅	民間開発	20㎡	遺跡あり	池邊、福永	工事着工
23	確認	米良草遺跡	平成28年8月4日	猪野	E	集合住宅	民間開発	20㎡	遺跡あり	小野、米倉	工事着工
24	確認	羽田遺跡	平成28年8月9日	大字羽田	A	集合住宅	民間開発	12㎡	遺跡なし	小野、福永	工事着工
25	確認	羽田遺跡	平成28年8月3日	大字羽田	A	滝尾住環境整備事業	公共事業	10㎡	遺跡あり	小野、福永	工事着工
26	立会	守岡遺跡	平成28年8月5日	大字曲	A	その他(育成クラブ室建設に伴う樹木の伐根)	公共事業	—	遺跡なし	池邊、福永	工事着工
27	確認	古国府遺跡群	平成28年9月8日	大字羽屋	A	集合住宅	民間開発	20㎡	遺跡なし	小野、福永、留野	工事着工
28	立会	米竹遺跡	平成28年9月21日	大字小池原	E	集合住宅	民間開発	11㎡	遺跡あり	池邊、福永、留野	工事着工
29	立会	二目川遺跡	平成28年9月26日	大字横尾	E	個人住宅	民間開発	4㎡	遺跡あり	福永、留野	工事着工
30	立会	津守遺跡	平成28年9月21日	大字津守	A	個人住宅	民間開発	2㎡	遺跡なし	小野	工事着工
31	立会	丹生川坂ノ市条里跡	平成28年9月23日	大字久土	G	個人住宅	民間開発	4㎡	遺跡なし	小野、留野	工事着工
32	立会	専想寺遺跡	平成28年10月7日	大字森町	E	店舗・宅地造成	民間開発	27㎡	遺跡なし	池邊、福永、留野	工事着工
33	確認	米竹遺跡	平成28年10月12日	大字千歳	E	社会福祉施設	民間開発	27㎡	遺跡あり	小野、福永、留野	工事着工
34	確認	中世大友府内町跡	平成28年10月25日	顕徳町2丁目	A	保育園	民間開発	13㎡	遺跡なし	五十川、福永、留野	工事着工
35	立会	丹生川坂ノ市条里跡	平成28年10月20日	大字屋山	G	集合住宅	民間開発	21㎡	遺跡なし	福永、留野	工事着工
36	確認	守岡遺跡	平成28年10月27日	大字曲	A	水道	公共事業	12㎡	遺構面に達せず	松浦、福永、留野	工事着工
37	立会	府内城・城下町	平成28年10月26日	大手町3丁目	A	水道	公共事業	3㎡	遺構面に達せず	塩地	工事着工
38	立会	猪野新土井遺跡	平成28年11月17日	大字猪野	E	個人住宅	民間開発	5㎡	遺構面に達せず	松浦	工事着工
39	確認	細遺跡	平成28年11月15～17日	細	G	道路建設	公共事業	49㎡	遺跡なし	池邊、小野、福永、留野	工事着工
40	確認	城原 C 遺跡	平成28年12月5日	城原	G	教会	民間開発	38㎡	遺跡あり	小野、留野	工事着工
41	確認	中世大友府内町跡	平成28年12月21日	錦町3丁目	A	集合住宅	民間開発	15㎡	遺跡あり	松浦、福永、留野	発掘調査
42	立会	玉沢地区条里跡	平成28年11月16日	大字上宗方	B	集合住宅	民間開発	4㎡	遺跡なし	池邊、木本	工事着工
43	立会	葛木遺跡	平成29年3月10日	大字葛木	E	個人住宅	民間開発	3㎡	遺跡あり	福永、留野	工事着工
44	確認	中世大友府内町跡	平成29年3月16～17日	六坊北町	A	個人住宅	民間開発	14㎡	遺跡あり	池邊、福永、留野	工事着工
45	確認	佐柳遺跡	平成29年3月29日	大字中戸次	C	個人住宅	民間開発	7㎡	遺跡なし	池邊、木本	工事着工
46	確認	米良草遺跡	平成29年1月10～13日、2月23日	大字猪野	E	宅地造成	民間開発	285.3㎡	遺跡あり	小野、留野、福永	工事着工
47	確認	中世大友府内町跡	平成29年1月17日	金池5丁目	A	集合住宅	民間開発	44㎡	遺跡あり	小野、福永、留野	工事着工
48	確認	猪野遺跡	平成29年1月25日	大字猪野	E	老人ホーム	民間開発	39㎡	遺跡あり	小野、留野、福永	工事着工
49	確認	中世大友府内町跡	平成29年2月20日	顕徳町2丁目	A	集合住宅	民間開発	3㎡	遺跡あり	松浦、福永、留野	工事着工
50	確認	葛木遺跡	平成29年2月15日	大字葛木	E	宅地造成	民間開発	27㎡	遺跡なし	池邊、福永、留野	工事着工
51	確認	玉沢地区条里跡	平成29年3月28・29日	大字上宗方	B	高齢者福祉施設	民間開発	156㎡	遺跡あり	小野、留野	工事着工

第2表 平成28年度確認調査・立会調査一覧表



- | | | | | |
|---------------|-------------------|-------------------|---------------|---------------|
| 1.大友氏館跡 第34次 | 5.上野大友館(上原館)跡 第8次 | 9.中世大友府内町跡 第120次 | 13.上野遺跡群 第20次 | 17.横尾遺跡 第156次 |
| 2.大友氏館跡 第35次 | 6.中世大友府内町跡 第124次 | 10.中世大友府内町跡 第121次 | 14.上野遺跡群 第21次 | 18.米竹遺跡 第13次 |
| 3.城原・里遺跡 第18次 | 7.府内城・城下町跡 第26次 | 11.中世大友府内町跡 第122次 | 15.羽田遺跡 第14次 | 19.葛木遺跡 |
| 4.城原・里遺跡 第19次 | 8.中世大友府内町跡 第117次 | 12.猪野遺跡 第7次 | 16.細遺跡 第1次 | 20.米良草遺跡 |

第2図 平成28年度発掘調査位置図(番号は第1表のNo.と対応)



- | | | | |
|------------------|-------------------|------------------|---------------|
| 1.大友氏館跡 第34次 | 4.城原・里遺跡 第18次 | 7.中世大友府内町跡 第124次 | 10.葛木遺跡 |
| 2.大友氏館跡 第35次 | 5.城原・里遺跡 第19次 | 8.府内城・城下町跡 第26次 | 11.米良草遺跡 |
| 3.大友氏館跡(庭園域:園池跡) | 6.上野大友館(上原館)跡 第8次 | 9.羽田遺跡 第14次 | 12.大道遺跡群 第24次 |

第3図 報告対象遺跡位置図(1/50,000)(番号は第3章の掲載順)

第 3 章

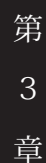
第 3 章

第 3 章

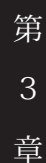
第 3 章

第 3 章

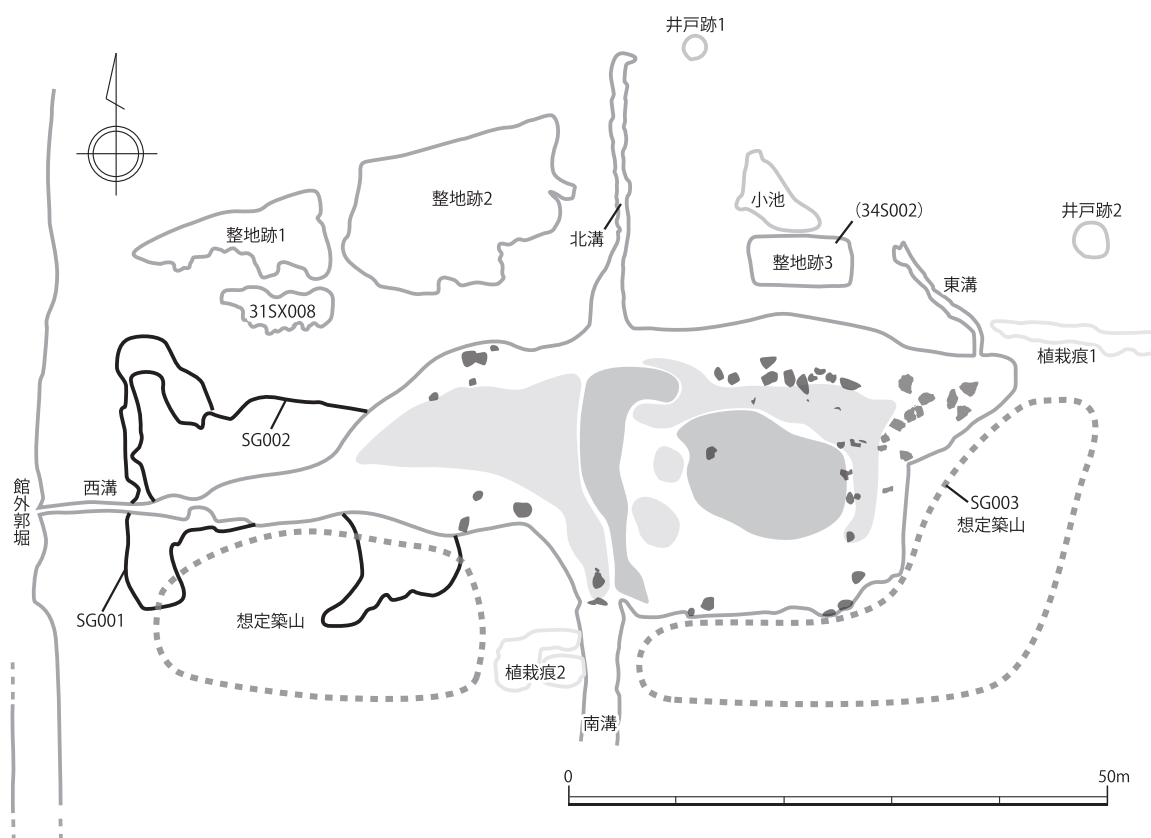
第 3 章



第 3 章



第 3 章



第6図 庭園遺構関連配置図 (1/700) (大分市教育委員会 2017『大友氏館跡』2より)

2点目に、館16次調査で確認されていた館16SX075(第6図 井戸跡1)の性格を明らかにし、館Ⅴ期庭園との関係性を検証することである。館34S001(館16SX075)を精査したところ、規模は直径2mほどで、深さ1.6m以上を測り、出土遺物に薄手の京都系土師器片等があることから、16世紀中葉以降と考えられ、館Ⅳ期～Ⅴ期にかけての遺構である。遺構の深さ等の状況から井戸跡と考えられる。遺構内には、人頭大礫と拳大礫が充填するような状況であった。この井戸跡は時期的にも館Ⅴ期庭園と重複する時期と考えられ、館Ⅴ期園池跡では、中央北辺に接続して南北に延びる「北溝」がちょうどこの遺構の近くまで延びていることになり、北溝内の土壌分析の結果、一時的に滞水し、その後水が流れていることが判明していることから、この井戸跡との関連がうかがえる。さらに、館16SX075西側には、拳大礫が平面的に貼り付けられた状況で検出されており、館16SX075の周辺にはこのような礫敷きが広がっていたことも想定される。

3点目に、館12次調査で確認された館12SX202(第6図 小池)の平面プラン及び性格の確認である。平面プランは不定形な楕円形状で、規模は長軸9m、短軸3.5m、最大深0.3mを測る。出土遺物は16世紀後半の京都系土師器片等があることから、館Ⅴ期の遺構であろう。遺構の性格は、珪藻分析から滞水していたことが確認され、平面プラン等の状況から池状遺構の可能性が高いと考えられる。

3. まとめ

以上、館34次調査では、園池に関わる水源や建物跡、さらに新たな小規模の池状遺構が確認されたことにより、16世紀後半の園池跡北東側の構造が明らかになったといえる。なお、平成29年1月31日付で、庭園域の本報告書を刊行した。(五十川)